

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	船揚場管理事務	3-10
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	浜益支所産業振興課	直通電話	79-2177
担当部長	工藤 泰雄	担当課長	渡邊 隆之
		担当者	寺山 和孝

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	船揚場の維持管理 利用許可事務 利用料金の収納事務 関係行政機関との連絡調整 借地(船揚場用地)に関する契約・支払関係事務		
(2)事業開始年度	昭和53年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	3 元気で活力あるまち	
	施策項目(大)	(2)水産業の振興	
	施策項目(小)	漁業基盤の整備	
	施策コード	30203	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	小規模漁業者の生産基盤の確保を図る。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	多少の時化でも出漁(利用)可能な船揚場を確保し、磯回り等小規模漁業者の生産基盤確保による安全操業と漁業振興を目指す。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	船揚場用地の確保と、漁業者への施設利用許可・利用料金の徴収、船揚場内の冬季間の時化等による砂利や漂着ゴミ等の除去、施設の破損補修ほかの維持管理、さらには関係機関との連絡調整を行う。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	漁港所在地域以外の漁業者は、磯周りを中心とした漁業者であり、磯舟による漁業を行っており、船揚場利用者の振興策として、区内5箇所に船揚場施設が設置された。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	196	345	179	260
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	863	829	897	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	1,059	1,174	1,076	
事務に従事した正職員延べ人数	0.10	0.10	0.10	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)																
区分	H17				H18				H19				H20予算			
	市補助金等(A)															
収入																
支出																
計(B)	0	0	0	0												
(A/B)																

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)						
活動指標名		H17	H18	H19	H20	
船揚場の数(箇所)	目標値	5	5	5	5	
	実績値	5	5	5		
	達成率	100.0	100.0	100.0		
船揚場利用漁業者数(人)	目標値	18	18	18	18	
	実績値	18	18	18		
	達成率	100.0	100.0	100.0		
	目標値					
	実績値					
	達成率					

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
船揚場利用漁業者の割合(%)	目標値	100	100	100	100
	実績値	100	100	100	
	達成率	100.0	100.0	100.0	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい	ア 施策との関連	1 密接な関連がある
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	2 普通	事業の成果と施策の成果とに関連があるか	2 関連がある
	3 小さい		3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない	イ 成果	1 すべて達成している
その事業に市が関与する必要があるかどうか	2 民間等でもできる	事業の成果は目標を達成しているか	2 一部達成している
	3 民間等でやるべき		3 達成していない
(2) 効率性		ウ 事業内容	1 極めて妥当
ア コスト削減	1 不可能である	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	2 一定の妥当性あり
コスト削減は可能か	2 難しい		3 妥当性が低い
	3 可能である		
(3) 公平性		(1)~(4)の評価ポイント合計	
ア 受益者負担	1 不可能である	総合評価の参考にしてください。	
さらなる受益者負担は可能か	2 難しい	7~11	A or B
	3 可能である	12~15	B or C
		16~21	D or E
		12	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		船揚場の確保と当該施設の良い維持管理により、多少の時化でも出漁(利用)が可能となり、磯回り等小規模漁業者の生産基盤の確保による漁業振興のため、当該事務は必要である。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		小規模漁業者の生産基盤の確保による漁業振興のため、今後も当該事務を継続していく。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		船揚場の確保と施設の良い維持管理により、多少の時化でも出漁(利用)が可能となり、磯回り等小規模漁業者の生産基盤の確保が図られた。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		直営から漁組へ維持管理を委ねることについて検討する。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
		課題の整理を行う。	